

登録コード	E8305400	開講年度	2026					
授業科目	解析学特別演習				担当教員	松澤 泰道		
英文授業名	Advanced Seminar in Analysis				副担当			
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	木曜・2時限		対象学生	4年生
講義室	教育N 3 2 2			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 E カリ，2 5 E カリ，2 4 E カリ，2 3 E カリ，2 2 E カリ，2 1 E カリ，2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				論理に基づいて精密な数学的議論を展開できるようになる．			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				何が明らかで何が明らかでないかを判別できるようになる．			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	第1回に提示した文献の中から，受講者が関心を持った文献を一冊選び，熟読する．セミナー形式で各自の発表を行い，質疑応答・討議する．文献の内容に関連した研究課題を設定し，研究を行う．調べた結果に基づいて考察したことを他者に的確に伝えるための執筆方法についても，具体的な内容に即して適宜取り入れる．							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス，文献の選択 第2回：文献の内容に関する発表（序文） 第3回：文献の内容に関する発表（記号の準備） 第4回：文献の内容に関する発表（定義の紹介） 第5回：文献の内容に関する発表（定義の検討） 第6回：文献の内容に関する発表（具体例の紹介） 第7回：文献の内容に関する発表（具体例の検討） 第8回：文献の内容に関する発表（主定理） 第9回：文献の内容に関する発表（主定理の証明） 第10回：文献の内容に関する発表（応用） 第11回：関連する参考文献の提示 第12回：関連する参考文献の内容の検討 第12回までの内容は文献の内容に応じて調整を行う． 第13回：研究課題の設定 受講者の人数に応じて，研究課題の数は調整を行う． 第14回：研究課題の発表と研究方針の検討（アーベル、ベッセル、コーシーについて調べる） 第15回：研究方針の発表（アーベルについて） 第16回：研究方針の発表（ベッセルについて） 第17回：研究方針の発表（コーシーについて） 第18回：進捗状況の確認（アーベルについて） 第19回：進捗状況の確認（ベッセルについて） 第20回：進捗状況の確認（コーシーについて） 第21回：研究結果の発表（アーベルについて） 第22回：研究結果の発表（ベッセルについて） 第23回：研究結果の発表（コーシーについて） 第24回：内容のまとめ 第25回：レポートの構成の検討 第26回：レポートの進捗状況の発表 第27回：レポートの最終チェック 第28回：最終発表，授業アンケート							
(6)成績評価の方法	「文献の内容を理解できているかどうか」を各回の発表の内容（60％），及び質疑応答・議論の内容（40％）によって評価する． 評価割合は，若干の調整を行うことがある． ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。							
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」							
(8)事前事後学習の内容	通年で2単位するためには毎週2時間の自習が要求される．その時間を用いて授業で提示された問題を必ず解くこと．また，各自で様々な参考書を読み，授業で消化不良している部分を補うこと．							
(9)履修上の注意	各自，研究テーマに関連した文献等を図書館などで検索・収集すること． 他の受講者が発表する際には，積極的に意見を述べて討論すること． この授業は90 時間の学修を必要とする内容であるため，60 時間以上の時間外学習が必要となる．							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時．myasu@shinshu-u.ac.jp							

【教科書】	未定 .
【参考文献】	未定 .